

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）	
信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）	
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行います。	
主要投資対象	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド受益証券
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券
主な組入制限	GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。
	GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の利用は行いません。
分配方針	年1回（6月15日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。 ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。（ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）	

運用報告書（全体版）

GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）

第3期（決算日 2021年6月15日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）」は、このたび第3期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1

お問い合わせ先

クライアント・リレーションズ・グループ

TEL : 03-3556-5040（営業日の9:00~17:00）

URL : <https://www.gci.jp>

■設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		投資信託 組入比率	純資産 総額
		税金 分配	込金 期騰落 中率		
(設定日) 2018年9月20日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 10
1期(2019年6月17日)	9,447	0	△5.5	98.3	861
2期(2020年6月15日)	8,885	0	△5.9	99.7	1,157
3期(2021年6月15日)	9,253	0	4.1	97.4	1,302

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万円当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。以下同じ。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

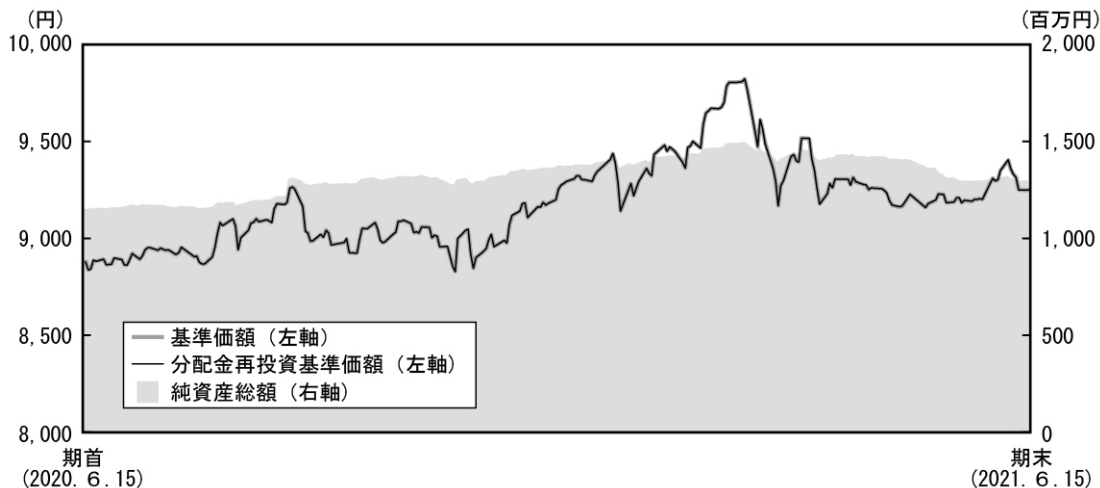
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準 価額	騰落 率	投資信託 組入比率
(期首) 2020年6月15日	円 8,885	% —	% 99.7
6月末	8,868	△0.2	98.7
7月末	8,873	△0.1	99.6
8月末	9,178	3.3	102.6
9月末	9,056	1.9	98.5
10月末	8,961	0.9	99.1
11月末	9,144	2.9	98.7
12月末	9,348	5.2	98.7
2021年1月末	9,451	6.4	98.6
2月末	9,768	9.9	98.6
3月末	9,264	4.3	98.7
4月末	9,230	3.9	99.2
5月末	9,287	4.5	98.2
(期末) 2021年6月15日	9,253	4.1	97.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

運用経過

■当期中の基準価額等の推移



期 首：8,885円
 期 末：9,253円（既払分配金（税引前）：0円）
 騰 落 率：4.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は上昇し、当期間のリターンは+4.1%となりました。

マザーファンドにて組入を行った投資信託証券のうち、主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM」が上昇したことがプラスに影響しました。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は下落（金利は上昇）しました。期の前半は特段の材料がないなか10年国債利回りは0%台前半での推移が継続しましたが、11月の米国大統領選挙でバイデン氏が勝利しインフレ懸念などから米国金利が上昇すると、国内金利も上昇（債券価格は下落）基調となりました。日銀が長短金利操作における長期金利の変動幅を拡大するとの思惑も加わり、10年国債利回りは0.18%まで上昇する場面も見られましたが、期の後半にかけては、米国金利の上昇一服を受け国内金利も低下に転じ0.1%を下回る水準で推移しました。

【国内株式】

当期の国内株式市場は上昇しました。期の前半は新型コロナウイルスの感染が拡大するなか緩やかに上昇しましたが、米国大統領選挙でのバイデン氏勝利やその後の大規模な経済対策の成立、新型コロナウイルスの開発・普及を受け米国株式が大きく上昇すると、国内株式も上昇基調を強めました。日経平均株価は2021年2月に約30年半ぶりに30,000円を回復しましたが、期の後半にかけては欧米と比べたワクチン接種の遅れや、度重なる緊急事態宣言の発出などが重石となり、上値の重い展開となりました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は下落（金利は上昇）しました。期の前半は各国中央銀行の大規模な金融緩和の下、米国10年国債利回りは0.6%～0.8%程度での推移が継続しましたが、米国大統領選挙以降は、バイデン政権による大規模な経済対策などから財政悪化や景気過熱によるインフレの加速が意識され、金利は急上昇しました。米国10年国債利回りは一時1.7%台後半まで上昇しましたが、その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレの加速は一時的であり現行の金融緩和政策を当面継続するとの姿勢を示したため金利上昇は一服しました。欧州金利は、新型コロナウイルスの感染拡大が続き2021年初までは低下したものの、米国金利の上昇や欧州でのワクチン普及による景況感改善などを受け上昇しました。

【外国株式】

当期の外国株式市場は上昇しました。世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大するなかでも、各国政府・中央銀行の大規模な財政・金融政策や米国ハイテク企業の好調な業績、新型コロナウイルス開発への期待などに支えられ、米国株式は上昇基調で推移しました。バイデン政権による大規模な経済対策が成立しワクチン接種が進展すると株価は一段と上昇する展開となりましたが、期の後半にかけては、米国金利の上昇が嫌気され、米ハイテク株を中心に上値が重くなる場面も見られました。欧州株式は、都市封鎖（ロックダウン）などの強い行動制限が取られたため期の前半は上値が重く推移しましたが、米国株式の上昇や新型コロナウイルス普及による経済活動再開への期待から上昇しました。

【為替相場】

当期の為替相場は、対ドルで円は下落しました。期初から2021年初にかけてはFRBによる大規模な金融緩和政策が長期化されるとの見方からドル安基調で推移し1ドル=102円台まで円高が進行しましたが、バイデン政権が誕生し財政拡大・インフレ懸念などから米国金利が上昇するとドルは上昇に転じ、1ドル=110円台まで円安が進行しました。欧州では新型コロナウイルスの感染拡大が続いたものの、期の後半にかけてはワクチン接種が進展し景況感が改善したことなどから、対ユーロでも円は下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、主に当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（指定投資信託証券）に投資を行いました。マザーファンドへの投資については、当期を通じて当ファンド全体の組入比率を高位に保ちました。

マザーファンドにおいては、定性評価、定量評価等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。

期末におけるマザーファンド内での、各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が88.9%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」が9.7%となっております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

収益分配金については、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配は行いませんでした。

なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産中に留保し、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。

【分配原資の内訳】

（単位：1万口当たり・税引前）

項目	第3期	
	2020年6月16日～2021年6月15日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	—

（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

【GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10（ラップ専用）】

引き続き、運用の基本方針に従い、GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

【GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド】

マザーファンドの運用については、投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第3期		項目の概要
	2020年6月16日～2021年6月15日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	126円	1.364%	(a) 信託報酬の総額＝(1)基本報酬＋(2)成功報酬 基本報酬＝期中の平均基準価額×基本報酬率 期中の平均基準価額は9,202円です。 委託した資金運用と受託会社への指図、基準価額の算出、法定書面の作成等の対価 交付運用報告書等の各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 ファンドの運用実績に応じて投信会社が受け取る運用の対価
(1) 基本報酬	126	1.364	
(投信会社)	(121)	(1.320)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(3)	(0.033)	
(2) 成功報酬	—	—	
(b) その他費用	8	0.083	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数×10,000 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(監査費用)	(8)	(0.083)	
合計	134	1.447	

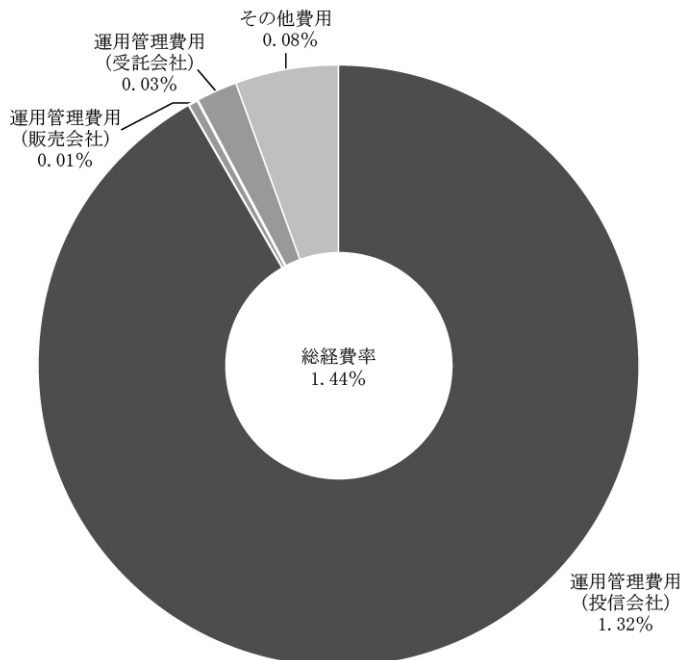
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満を四捨五入しています。

（参考情報）総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.44%です。



(注) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) マザーファンドの投資対象先ファンドが支払った費用の比率は、単位未満のため表示していません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

ファンド名	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	290,127	276,100	220,099	210,500

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未满是切り捨てています。

■利害関係人との取引状況等 (2020年6月16日から2021年6月15日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業または商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月16日から2021年6月15日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細

親投資信託残高

(2021年6月15日現在)

ファンド名	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	1,260,406	1,330,434	1,287,328

(注) 口数・評価額の単位未满是切り捨てています。

(注) GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は、1,330,434千口です。

■投資信託財産の構成

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	1,287,328	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	32,547	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,319,875	100.0

(注) 比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。

(注) 評価額の単位未满是切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,319,875,486円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	32,547,049
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド(評価額)	1,287,328,437
(B) 負 債	17,377,105
未 払 解 約 金	7,298,186
未 払 信 託 報 酬	9,528,835
未 払 利 息	84
そ の 他 未 払 費 用	550,000
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,302,498,381
元 本	1,407,638,251
次 期 繰 越 損 益 金	△105,139,870
(D) 受 益 権 総 口 数	1,407,638,251口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,253円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,302,243,906円、期中追加設定元本額は484,530,939円、期中一部解約元本額は379,136,594円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9253円です。

■損益の状況

当期(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△8,806円
支 払 利 息	△8,806
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	58,221,049
売 買 益	68,060,456
売 買 損	△9,839,407
(C) 信 託 報 酬 等	△19,216,635
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	38,995,608
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△63,583,360
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△80,552,118
(配 当 等 相 当 額)	(△7,449)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△80,544,669)
(G) 計 (D+E+F)	△105,139,870
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△105,139,870
追 加 信 託 差 損 益 金	△80,552,118
(配 当 等 相 当 額)	(△7,757)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△80,544,361)
繰 越 損 益 金	△24,587,752

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)追加信託差損益金とあるとは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)収益分配金の額の計算過程については、以下の表をご参照ください。

項目	当期
計算期間末における配当等収益から費用を控除した額	0円
有価証券売買等損益から費用を控除した額	0円
信託約款に規定される収益調整金	0円
信託約款に規定される分配準備積立金	0円
分配対象収益	0円
(1万口当たり)	0円
分配金額	0円
(1万口当たり)	0円

■分配金のお知らせ

	第	3	期
1 万口 当 たり 分 配 金 （ 税 引 前 ）			0円

※分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

■お知らせ

◇約款変更

該当事項はありません。

◇運用体制の変更

該当事項はありません。

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド

運用報告書

第3期（決算日 2021年6月15日）

< 計算期間 2020年6月16日～2021年6月15日 >

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限（設定日：2018年9月20日）
運用方針	中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行います。
主要投資対象	日次の流動性をもち、かつ株式会社GCIアセット・マネジメントが運用に関するオルタナティブ戦略の投資信託証券
主な組入制限	同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の利用は行いません。

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期騰	落中率		
(設定日) 2018年9月20日	円 10,000		% —	% —	百万円 12
1期(2019年6月17日)	9,557		△4.4	98.5	883
2期(2020年6月15日)	9,154		△4.2	100.0	1,209
3期(2021年6月15日)	9,676		5.7	98.5	1,287

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

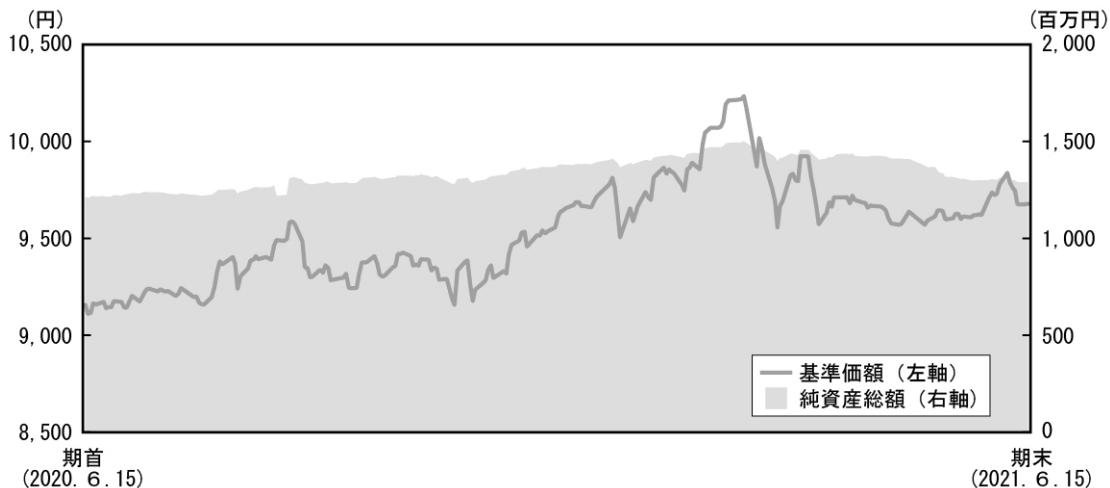
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率		投資信託証券組入比率
		騰	落率	
(期首) 2020年6月15日	円 9,154		% —	% 100.0
6月末	9,141		△0.1	98.9
7月末	9,158		0.0	99.8
8月末	9,485		3.6	102.8
9月末	9,374		2.4	98.7
10月末	9,286		1.4	99.4
11月末	9,488		3.6	98.9
12月末	9,711		6.1	98.9
2021年1月末	9,830		7.4	98.8
2月末	10,172		11.1	98.9
3月末	9,660		5.5	98.9
4月末	9,636		5.3	99.5
5月末	9,706		6.0	98.8
(期末) 2021年6月15日	9,676		5.7	98.5

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

■ 当期中の基準価額等の推移



期 首 : 9,154円
 期 末 : 9,676円
 騰 落 率 : 5.7%

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は上昇し、当期間のリターンは+5.7%となりました。

主に、期を通して組入上位でありました「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が上昇したことがプラスに影響しました。

■投資環境

【国内債券】

当期の国内債券市場は下落（金利は上昇）しました。期の前半は特段の材料がないなか10年国債利回りは0%台前半での推移が継続しましたが、11月の米国大統領選挙でバイデン氏が勝利しインフレ懸念などから米国金利が上昇すると、国内金利も上昇（債券価格は下落）基調となりました。日銀が長短金利操作における長期金利の変動幅を拡大するとの思惑も加わり、10年国債利回りは0.18%まで上昇する場面も見られましたが、期の後半にかけては、米国金利の上昇一服を受け国内金利も低下に転じ0.1%を下回る水準で推移しました。

【国内株式】

当期の国内株式市場は上昇しました。期の前半は新型コロナウイルスの感染が拡大するなか緩やかに上昇しましたが、米国大統領選挙でのバイデン氏勝利やその後の大規模な経済対策の成立、新型コロナウイルスワクチンの開発・普及を受け米国株式が大きく上昇すると、国内株式も上昇基調を強めました。日経平均株価は2021年2月に約30年半ぶりに30,000円を回復しましたが、期の後半にかけては欧米と比べたワクチン接種の遅れや、度重なる緊急事態宣言の発出などが重石となり、上値の重い展開となりました。

【外国債券】

当期の外国債券市場は下落（金利は上昇）しました。期の前半は各国中央銀行の大規模な金融緩和の下、米国10年国債利回りは0.6%~0.8%程度での推移が継続しましたが、米国大統領選挙以降は、バイデン政権による大規模な経済対策などから財政悪化や景気過熱によるインフレの加速が意識され、金利は急上昇しました。米国10年国債利回りは一時1.7%台後半まで上昇しましたが、その後は、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレの加速は一時的であり現行の金融緩和政策を当面継続するとの姿勢を示したため金利上昇は一服しました。欧州金利は、新型コロナウイルスの感染拡大が続き2021年初までは低下したものの、米国金利の上昇や欧州でのワクチン普及による景況感改善などを受け上昇しました。

【外国株式】

当期の外国株式市場は上昇しました。世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大するなかでも、各国政府・中央銀行の大規模な財政・金融政策や米国ハイテク企業の好調な業績、新型コロナウイルスワクチン開発への期待などに支えられ、米国株式は上昇基調で推移しました。バイデン政権による大規模な経済対策が成立しワクチン接種が進展すると株価は一段と上昇する展開となりましたが、期の後半にかけては、米国金利の上昇が嫌気され、米ハイテク株を中心に上値が重くなる場面も見られました。欧州株式は、都市封鎖（ロックダウン）などの強い行動制限が取られたため期の前半は上値が重く推移しましたが、米国株式の上昇や新型コロナウイルスワクチン普及による経済活動再開への期待から上昇しました。

【為替相場】

当期の為替相場は、対ドルで円は下落しました。期初から2021年初にかけてはFRBによる大規模な金融緩和政策が長期化されるとの見方からドル安基調で推移し1ドル=102円台まで円高が進行しましたが、バイデン政権が誕生し財政拡大・インフレ懸念などから米国金利が上昇するとドルは上昇に転じ、1ドル=110円台まで円安が進行しました。欧州では新型コロナウイルスの感染拡大が続いたものの、期の後半にかけてはワクチン接種が進展し景況感が改善したことなどから、対ユーロでも円は下落しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドでは、定性評価、定量評価等を勘案して当社が運用に関与するオルタナティブ戦略（投資信託証券）を複数選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行い、当期間においては投資対象とする投資信託証券のうち、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」の2ファンドに投資を行いました。

期末における各投資信託証券の組入比率は、「GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスM」が88.9%、「GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）」が9.7%となっております。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■今後の運用方針

引き続き、運用の基本方針に従い、当社が運用に関与するオルタナティブ戦略の投資信託証券に投資することにより、長期的な信託財産の成長を目指します。

投資信託証券への投資にあたり、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行う方針です。なお、市況、各種評価等を勘案し、新たな投資対象ファンドを追加する場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 売買及び取引の状況

投資信託受益証券、投資証券

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	23,885,985	25,000	29,196,321	31,000
外国	ケイマン GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM	22,584	205,000	22,832	210,000
合計	証券数・金額	23,908,569	230,000	29,219,153	241,000

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年6月16日から2021年6月15日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業または商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年6月16日から2021年6月15日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンド

(2021年6月15日現在)

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF (適格機関投資家専用)	115,471,336	124,339	9.7
GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM	122,747	1,144,174	88.9
合 計	115,594,083	1,268,513	

(注) 評価額は、単位未満を切り捨てています。

■投資信託財産の構成

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,268,513	98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,796	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,287,309	100.0

(注) 比率は、当ファンドの投資信託財産総額に対する各資産の評価額の割合です。

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年6月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,287,309,987円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,796,394
投資信託受益証券(評価額)	1,268,513,593
(B) 負 債	48
未 払 利 息	48
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,287,309,939
元 本	1,330,434,516
次 期 繰 越 損 益 金	△43,124,577
(D) 受 益 権 総 口 数	1,330,434,516口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	9.676円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,321,696,182円、期中追加設定元本額は295,547,457円、期中一部解約元本額は286,809,123円です。

(注) 元本の内訳は以下の通りです。

・GCIオルタナティブバスケット・ファンドV10(ラップ専用) 1,330,434,516円

(注) 1口当たり純資産額は0.9676円です。

■損益の状況

(2020年6月16日から2021年6月15日まで)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△10,496円
支 払 利 息	△10,496
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	69,891,450
売 買 益	69,925,556
売 買 損	△34,106
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	69,880,954
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△111,763,590
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△14,447,457
(F) 解 約 差 損 益 金	13,205,516
(G) 計 (C+D+E+F)	△43,124,577
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△43,124,577

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■お知らせ

◇約款変更

該当事項はありません。

◇運用体制の変更

該当事項はありません。

[組入投資信託証券の内容]

GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド クラスF（適格機関投資家専用）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

形態	追加型株式投資信託
信託期間	無期限（設定日：2018年9月21日）
運用方針	中長期的な信託財産の成長と安定した収益の確保を目標に積極的な運用を行います。
主要投資対象	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンド受益証券
運用方法	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンドの受益証券への投資を通じて、独自に開発した短期アルゴリズム取引を組み合わせた短期トレーディングによるロング・ショート運用を行います。
分配方針	<p>年1回（2月20日、当該日が休業日の場合は翌営業日）決算を行い、以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・収益分配金額は、上記の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。（ただし、委託会社の判断により分配を行わないこともあります。）

○損益の状況

(2020年2月21日～2021年2月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△9
支払利息	△9
(B) 有価証券売買損益	6,460,904
売買益	6,694,115
売買損	△233,211
(C) 信託報酬等	△48,801
(D) 当期損益金 (A+B+C)	6,412,094
(E) 前期繰越損益金	950,301
(F) 追加信託差損益金	630,065
(配当等相当額)	(378,224)
(売買損益相当額)	(251,841)
(G) 計 (D+E+F)	7,992,460
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	7,992,460
追加信託差損益金	630,065
(配当等相当額)	(380,369)
(売買損益相当額)	(249,696)
分配準備積立金	7,362,395

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (39,032円)、費用控除後の有価証券等損益額 (6,066,241円)、信託約款に規定する収益調整金 (630,065円) および分配準備積立金 (1,257,122円) より分配対象収益は7,992,460円 (10,000口当たり595円) ですが、当期に分配した金額はありません。

○組入資産の明細

親投資信託残高

(2021年2月22日現在)

フ ァ ン ド 名	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
GCI株式ロング&ショートトレーディング マザーファンド	128,809	142,128

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注) GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンド全体の受益権口数は (2,225,813千口) です。

GCIシステマティック・マクロファンド Vol10 クラスM

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

ファンド形態	外国籍投資信託
主な投資対象	世界各国の株価指数先物・債券先物・金利先物、通貨先物、為替
運用の基本方針	システム運用により信託財産の長期的な成長を目指します。
委託会社 (運用会社)の名称	GCI Asset Management, HK Limited

○損益計算書 2020年6月1日～2021年5月31日

		(単位 : USD)
Realised gain/loss	Commission & other charges	(186.92)
	Realised gain/loss fx forward	(271,582.84)
	Realised gain/loss fx spot	10,597.92
	Realised gain/loss mutual funds	(113,611.69)
		(374,783.53)
Unrealised gain/loss	FX gain/loss - balance sheet	(61,985.76)
	Unrealised p/l forward fx	44,849.72
	Unrealised p/l settled mutual funds	720,586.48
	Unrealised p/l spot fx	301.22
		703,751.66
Other expenses	Administration disbursements	(334.49)
	Administration fee expense	(3,344.93)
	Audit fee	(1,573.67)
	Bank charges	(745.38)
	CRS Services Expense	(646.35)
	FATCA Services fee expense	(760.21)
	Financial statement prep exp	(1,382.77)
	General Expenses	(87.78)
	Legal fee	(783.07)
	License fee	(1,480.83)
	MLRO Fee Expense	(253.39)
	Regulatory Fee Expense	(1,768.16)
	Trustee Fees Expense	(1,588.36)
		(14,749.39)
Investment Expenses	Interest Expense	(0.73)
		(0.73)
Investment management fee expense	Incentive fee expense	0.37
		0.37
NET PROFIT/LOSS FOR THE PERIOD		314,218.38

○組入上位10銘柄

2021年5月31日

	銘柄	種類	通貨	国	組入比率 (%)
1	2-Yr US Treasury Note Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	198.2
2	10-year JGB Futures Jun 20 Jun 21	債券先物	JPY	日本	125.1
3	30-Yr US Treasury Bond Futures Sep 21	債券先物	USD	米国	44.7
4	French 10-Year Bond Future Jun 21	債券先物	EUR	ドイツ	17.5
5	Long Gilt Futures Sep 21	債券先物	GBP	英国	16.5
6	E-mini S&P 500 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	13.9
7	CAC-40 Index Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	フランス	9.2
8	Nikkei 225 Futures Jun 20 Jun 21	株価指数先物	JPY	日本	9.1
9	E-mini NASDAQ-100 Futures Jun 21	株価指数先物	USD	米国	3.5
10	DAX Futures Jun 21	株価指数先物	EUR	ドイツ	1.8
組 入 銘 柄 数					11銘柄

(注) 銘柄は、GCIシステムティック・マクロファンド Vo110 クラスMが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地および債券は発行体の所在地です。